第一礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ:渡真利彦文牧師

前　奏		
頌　栄	５４０	会 衆
主の祈り		会 衆
プレイズ	「いのちの水」 「その日全世界が」	会 衆
聖書朗読	エゼキエル書 47：1－12	司 会
祈　祷	（旧約聖書ｐ1374）	司 会
賛　美	５２９	会 衆
メッセージ	「生ける命の水」	牧 師
祈　祷		牧 師
賛　美	２１７	会 衆
聖 餐 式		
献　金		
報　告		司 会
頌　栄	新生６７２b	会 衆
祝　祷		牧 師

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

第二礼拝次第

ﾒｯｾｰｼﾞ:渡真利彦文牧師

聖書：使徒言行録 6：1～7(新約聖書 p223)

ﾒｯｾｰｼﾞ：「信仰に入る」

ﾌﾟﾚｲｽﾞ：「平和初めて知った」「主の愛が今」

賛 美：新生１０４　新生５４４

♪～♪～♪～♪～♪～♪～♪～

ファミリー礼拝

ﾒｯｾｰｼﾞ：伊禮信義先生

聖書：創世記 28 章　ﾒｯｾｰｼﾞ：「ヤコブの旅」

＜巻頭言＞

「朝早く、主に祈る！」

牧師　渡真利彦文

プロテスタントの伝道は、日韓両国とも約 150 年前に開始された。日本クリスチャン人口はカトリックも含めて約 1 パーセント、一方の韓国では約 30 パーセントがクリスチャンとなった。なぜこのような格差がもたらされたかについては様々な理由が考えられ、単純に一つの理由で割り切ることは難しいが、その理由の一つが早天祈祷にあることは疑い得ない。

早天祈祷の効果が大であることに関して、ウォッチマン・ニー（20 世紀初期の中国のキリスト教作家、教会の指導者。最後の 20 年間を中国共産党の迫害により牢獄で過ごす。）は次のように語っている。「一日の他の時の祈りは早天の祈りに比較することはできません。そして主との交わりに、明け方のような甘美の瞬間は、他に決してありません。一日の最上の時を神にささげるべきであります。人々やこの世の事にささげてはなりません。丸一日をこの世で過ごし、それから夕方くたくたになった時、寝床につく前に祈り、聖書を読むためにひざまずく者は愚か者です。その祈り、その聖書研究、その主との交わりが、欠点あると言って誰が驚くでしょう。彼の問題は朝あまりにも遅く起きることの問題です。」（「キリスト者の基本的な知識と経験」第一巻“生きた供え物”）

ここでウォッチマン・ニーは、同じ祈りでも、早天の祈りと日中の祈りは違うと指摘している。早天祈祷の恵みにあずかる兄弟姉妹が起こされることを祈っている。